

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第4部門第1区分

【発行日】平成25年1月24日(2013.1.24)

【公開番号】特開2012-97534(P2012-97534A)

【公開日】平成24年5月24日(2012.5.24)

【年通号数】公開・登録公報2012-020

【出願番号】特願2010-248391(P2010-248391)

【国際特許分類】

*E 04 G 5/08 (2006.01)*

【F I】

E 04 G 5/08 Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年12月4日(2012.12.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

足場において対向する両横架材間に架け渡された足場板の、その長手方向に直交する側端部側に発生する隙間を塞ぐように取り付けられる足場板隙間プレートであって、足場板とほぼ同じ長さの水平板部とこれの幅方向基端側下部に設けられる側枠部とで形成され、水平板部が足場板の側端部上面に載置されるプレート本体と、前記側枠部の両端に突設され、対向する両横架材に係止される係止用フックと、プレート本体を所要の隙間塞ぎ位置にロックするロック手段とからなり、ロック手段は、水平板部にその幅方向にスライド可能に取り付けられ、足場板の側端部に当接されるスライド金具と、水平板部の下方でスライド金具に上下動自在に支持される支持金具と、支持金具の上部に上向きに突設され、水平板部にその幅方向に設けた長溝に沿って移動可能なロック用ガイドピンと、このガイドピンの両側で上方へ突出するように支持金具に一体に設けられ、前記長溝の両側に夫タ一定ピッチで配設した複数のロック孔に係入可能な両側一対のロックピンと、支持金具とスライド金具との間に介装され、ロック用ガイドピンが長溝から上方へ突出し且つ両ロックピンが所要のロック孔に係入したロック状態を維持するように支持金具を上向きに付勢するバネとからなるもので、ロック用ガイドピンをバネに抗して手で押し下げることによりガイドピンの頭部を長溝に係合させたまま両ロックピンをロック孔から抜いてロック解除するようにしてなる足場板隙間プレート。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記課題を解決するための手段を、後述する実施形態の参照符号を付して説明すると、請求項1に係る発明は、足場において対向する両横架材間に架け渡された足場板4(図9、図10参照)の、その長手方向に直交する側端部に発生する隙間を塞ぐように取り付けられる足場板隙間プレート1であって、足場板4とほぼ同じ長さの水平板部5とこれの幅方向基端側下部に設けられる側枠部6とで形成され、水平板部5が足場板4の側端部上面に載置されるプレート本体7と、前記側枠部6の両端に突設され、対向する両横架材3,3に係止される係止用フック8,8と、プレート本体7を所要の隙間塞ぎ位置にロックす

るロック手段9(図2参照)とからなり、ロック手段9は、水平板部5にその幅方向にスライド可能に取り付けられ、足場板4の側端部に当接されるスライド金具10と、水平板部5の下方でスライド金具10に上下動自在に支持される支持金具11と、支持金具11の上部に上向きに突設され、水平板部5にその幅方向に設けた長溝12に沿って移動可能なロック用ガイドピン13と、このガイドピン13の両側で上方へ突出するように支持金具11に一体に設けられ、前記長溝12の両側に夫々一定ピッチで配設した複数のロック孔14に係入可能な両側一対のロックピン15,15と、支持金具11とスライド金具10との間に介装され、ロック用ガイドピン13が長溝12から上方へ突出し且つ両ロックピン15が所要のロック孔14に係入してロック状態を維持するように支持金具11を上向きに付勢するバネ16とからなるもので、ロック用ガイドピン13をバネ16に抗して手で押し下げることによりガイドピン13の頭部を長溝12に係合させたまま両ロックピン15,15をロック孔14,14から抜いてロック解除するようにしてなることを特徴とする。